



【アーモンドと雪】

思いがけず春の大雪となった昨年4月の松本地方。

サクラやレンギョウ、ハナカイドウなど咲き乱れた花々が、雪に覆われた。

撮影：平成22年4月中旬

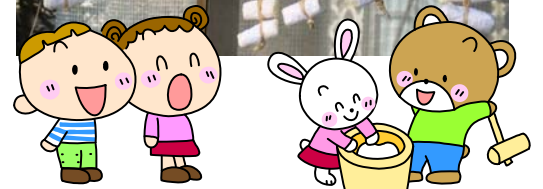
信州の味 凍り餅

「凍り餅(氷餅)」は、冬の寒さが厳しい信州ならではの郷土食です。

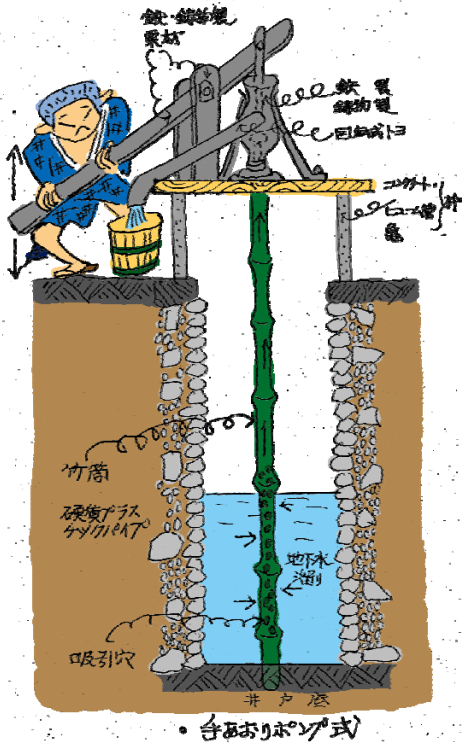
お餅を細長く切って和紙に包み、ワラなどの紐で編んだものを数日間水に浸した後、寒中の軒下につるし、寒風にさらして凍みた状態のまま乾燥させて

作ります。昔は多くの家庭で作られていた保存食で、お菓子としてだけではなく、離乳食や病気の時の流動食としても用いられる自然食品です。よく乾燥していて軽いので、登山者の携帯食や非常食としても適しています。

食べ方は、そのまま食べればサクサクした食感が楽しめます。また、凍り餅を適当な大きさに砕いて10分程度水に浸し、水気を切ってからお湯を注ぎ、数分間待つとトロトロになります。お好みに砂糖や塩やきな粉などをかけていただきます。



手押しポンプあれこれ



【掘り井戸断面図(沢村井戸考より)】

昔から井戸と言えば「石積み井戸」と「手押しポンプ」を思い浮かべるでしょう。キコキコと言う手こぎの音と、清涼な地下水の流れは、涼しさとなつかしさを感じさせます。最近の井戸でも手押しポンプの要望は多く、災害時の非常用水ポンプとしても見直されています。

そこで最近の手押しポンプを、設置事例とともに紹介致します。

1.手押しポンプ(据え付け型)

- ①寒冷地仕様があり、凍結からポンプが守られる。
- ②深井戸用があり水位が7m以深の深井戸でも使用可能。

手押しポンプは「呼び水」をポンプの上部から入れないと水が出ません。この呼び水が冬期に凍結し、シリンダーが割れてしまうことがあります。寒冷地仕様は、ハンドルを上部に持ち上げると水が抜ける仕組みになっています。



【山形村永田邸 古屋の井戸】

他にも、シリンダーの下部に水抜き穴を設置してあるものがあります。

深井戸用は、ピストンとシリンダーが井戸の中にあり、シャフトで地上部までつなげます。ハンドルにおもりを設置すれば小さな力でも水が容易に汲めます。井戸の口径が10cm以上必要になります。

2.雨水屋ノーマポンプ(携帯型)

- ①呼び水なしで30m以上から水が汲み上げられ、軽量で携帯可能。

手押しポンプや自給式ポンプ(動力)で揚水できる高さは、せいぜい7~8mです。ところが、このポンプは30m下の水を揚水できます。実際に4m程度の高さで使ってみました。実に軽く水が汲めます。特徴は先端の汲み上げる部分にあり、洗車などに使用する加圧式もあります。

3.ハンドダイヤフラムポンプ(携帯型)

- ①呼び水なしで異物が混入した水でも汲み上げられる。

松本市の水巡りの井戸で、緊急災害時の非常用ポンプとして設置されています。地下水位が2~3m程度の井戸では、軽い力で一回500cc程度の水が揚水できますが、水位が深くなるとハンドルが多少重くなります。

手押しポンプは人力だけで動かせるエコ商品で、特徴を生かした使い方をすれば、とても貴重な器械と言えます。



【ノーマポンプ】



【ハンドダイヤフラムポンプ】

ちよつと こばなし

◆◆◆ 八百長の語源 ◆◆◆

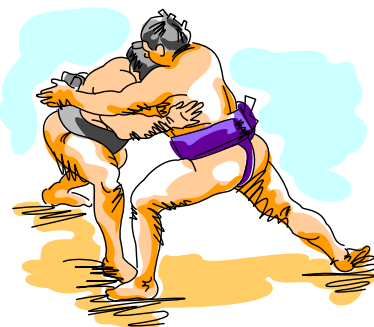
「八百長」は英語で「fixed」、中国語で「作弊」と書くが、日本語に味がある。

その語源は明治初年、通称八百長(八百屋の長兵衛)が相撲の年寄某との暮の手合せで、常に1勝1敗になるようにあしらっていた事からくる。比較的新しい言葉と思われる。元々相撲関連から発生した言葉からすれば、相撲界に関連が深い言葉と言える。

今、大相撲界では八百長問題で存続の危機に立っているが、なぜ大相撲だけが問題なのか。競輪、競馬はギャンブルのため、八百長は犯罪となる。しかし、プロレスや野球は特に刑事罰とならない。八百長の目的が賭博の場合は犯罪となる。

大相撲の性格として、スポーツ、興行、神事がある。興行的には、江戸末期より明治にかけて確立したようである。明治の初めには、文明開化に伴い、裸体禁止令が出され相撲取りが罰金やむち打ちの刑に処されたようだ。

興行的に見れば、さんざん張り手で攻められ、最後に必ずうっちゃりて勝つ力士が人気者になりそうである。



野球の場合、よく三振してこいと監督から指示が出るが、これは八百長ではないのか。戦術かもしれないが、見方を変えれば八百長になる。

ピートローズが野球賭博に関与していて野球界から永久に追放されているのは有名な話。賭博の対象が、自身が監督を務めるレッズが含まれていた。しかし、彼はプロレス界に貢献していて、プロレス団体WWEより殿堂入りをしている。

◆◆◆ 氷見の寒ぶりの話 ◆◆◆

この冬2010年12月からの2か月間に氷見港でブリの水揚げが13万本と過去最高になった。この数は、今年の30倍、平年の10倍にもなる。小売値では、例年の半額になっていると



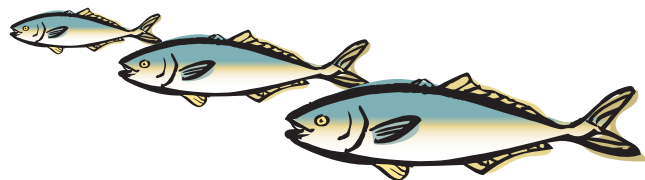
のことだが、スーパーの売り場がない。松本周辺では、石川産(天然)、愛媛、鹿児島産の養殖ものしか売っていない。なぜか?ブランドものだからだ。大間のマグロ、関さば等と並び他より高値で取引される。よって、ほとんどは東京築地市場に行くようだ。ここで産地偽装問題が生じる。石川産のぶりを氷見港水揚げとした疑惑で県警が捜索したらしい。長

野県の我々にとっては、海はつながっているし、どちらでもよいが・・・売り場がないのが悔しい。

氷見の寒ぶりは、12月からの冬の雷鳴(ぶり起し)と共にやって来ると言われ、冬が最盛期となる。

ぶりは出世魚として知られ、氷見港では、「モジャコ ⇒ ツバイソ ⇒ コクジラ ⇒ フクラギ ⇒ ガンド ⇒ ブリ」と呼ばれている。

異常な水揚げが地震等天地異変の予兆でなければよいが・・・。



新 松本・安曇野 宝かるた



早春の 四賀の土手には 福寿草

福寿草は、春の訪れを告げてくれる可愛い花として愛されています。なかでも、残雪の中から顔をのぞかせる「雪割り福寿草」の姿は感動的です。

松本市の四賀地区は、約1.5haの斜面に約50万株の福寿草が自生する、長野県内で最大級の群生地です。3月上旬から下旬には「福寿草まつり」が開催され、数万人が訪れます。

信州水めぐり

松本市

東門の井戸



東門の井戸は上土の下町会館前にあり、地下30mから水を汲み上げています。松本城の東門馬出し跡がこのあたりにあったことから、名前がつけられました。東門馬出しは松本城最大の馬出し(城の出入り口に設けられた小規模な曲輪(くるわ)、出撃する時の拠点)で、町民や農民が城内に入る場合はこの東門から入ったとされています。

住所：松本市大手4-8-11
下町会館敷地内
竣工：平成20年



お知らせ

ホームページを全面的にリニューアルいたしました。井戸・温泉の掘り方やメンテナンスの方法、地質調査・土壌汚染調査の方法などレア情報が満載です。

また、リンクサイトも充実しています。もちろん過去の水色通信もご覧いただけます。

サクセン



発行元

株式会社 サクセン 60th

季刊 水色通信 編集部

〒390-0833長野県松本市双葉6番1号

TEL: 0263-25-1802(代表)

FAX: 0263-25-9642(代表)

<http://www.sakusen.co.jp/>

